

4 歳児 保育指導案

1 活動主題：「忍者遊びをしよう」

2 最近の幼児の活動（主題とのかかわりを中心に）

- (1) 友達と一緒に作ったり、思っていることや考えていることを出し合ったりして遊んでいる。
 - 運動会で「にんにん忍者」の踊りをしたことで、新聞紙の剣や手裏剣、ビニールの服などを作り、踊りの曲で使われていた「にんにん」「くせもの～」「忍者でござる」「あっぱれ」などのセリフを真似して、気の合う友達と一緒に忍者になりきって遊んでいる。
 - 「忍者の術」といって雲梯の上を四つんばいで渡ったり、手と足を使いぶら下がったりして遊んでいる。
 - 自分の思いを出し合い、トラブルになることがある。まだ、自分の思いだけを受け止めてほしいという、自己中心的な幼児もかなりいるが、友達同士、自分の気持ちや言葉で相手に伝えようとする姿が見られるようになってきた。
- (2) 同じ素材でも新しい遊び方を友達と考え、遊びが広がってきている。
 - 折り紙とセロテープを組み合わせ、プリキュアの変身ブレスレットにして遊び始める姿が見られる。
 - 粘土を包丁で小さく切り、容器に入れ、料理にして遊んでいたが、板を出したことによって、板と板の間に粘土を挿み、薄く平らにして、型押しクッキーやドーナツ、お肉などに見立てる。料理のメニューが増え、遊びが広がる。
- (3) 自然や小動物、草花を取り入れて友達と遊びを楽しんでいる。
 - ケーキ上のクリームとして、白砂をもってきてのせたり、葉っぱでウサギの耳を作ったりしている。
 - 砂場に穴を掘って、落とし穴遊びを始める。
 - 草をもってきてカレー屋さんを始める。

3 教師の願い

- 忍者になりきって遊ぶことで、言葉、しぐさ、動きでイメージやアイディアを出し合い、子どもたち同士で遊びを作ったり、作り替えたりしながら継続的、持続的に遊んで欲しい。
- 一人遊びが多かった子どもが、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じてきているので、教師も遊び仲間となり、友達と関わりながら一緒に遊びを楽しんで欲しい。
- 自然に触れて遊ぶ中で、季節の移り変わりについて気付いたり、自然の美しさや不思議さなどを感じたり、友達と共感する喜びを味わったりできるようにしたい。
- 相手の気持ちを考えたり、少しでも自分の気持ちを言葉で伝えたりできるようになって欲しい。

4 週のねらいと内容

- 忍者のイメージを出し合い、忍者になりきって友達とかかわって遊ぶ。
 - ・ 忍者の隠れ家を作る。
 - ・ 忍者にどんな術(忍法)があるか話し合いながら遊ぶ。

5 活動の流れ

	幼児の活動	反省と考察
月曜日	<p>段ボールでお家を作る T:大きい段ボールと段ボールカッターを用意しておく。 ・寝ころんだり、足踏みしたりして遊び始める。 ・中に入る。「お家にしよう」「忍者の家だ」 ・段ボールカッターで切って遊んでいる。 ・切った所からのぞいたり、手を出したりして、家の中と外で友達と関わっている。</p> <p>忍者の修行をする *登り棒 T:上まで登った子をほめる。 ・お互いどこまで登れるか楽しんでいる。 *きのことび T:とべない子の手を握る。 ・「順番よ」といいながら並んでいる。 ・とべない友達の手を握って援助してあげている。 *木登り ・木の上に登り、友達を呼んで遊んでいる。</p> <p>砂場で遊ぶ ・砂、草花、水を使い料理作りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きい段ボールを用意したことで、思い切り段ボールカッターで切っていた。始めに家の中に入っていた子どもと後から入る子の間でトラブルも見られたが、お互いの気持ちを伝え合う機会をことで、関係をつなぐことができた。 ・登ったり、跳んだり、体を動かして遊んでいる。うまくできなくても、がんばりを褒めたり、応援したりすることで、活動への意欲が出てくる。 ・園庭の自然物に興味が出ているので、落ち葉を集め、友達との関わりを持てるようにしたい。
火曜日	<p>段ボールでお家を作る T:絵の具、筆を用意しておく。 ・友達を真似して段ボールに自分の名前を書いている。 ・壁を塗っている。 T:絵も描いていいと声かけ ・忍者の家の中も絵を描き、楽しんでいる。</p> <p>忍者の修行をする *落ち葉 T:木の下に落ち葉を集めておく。 ・落ち葉を投げて、風に運ばれる様子を楽しんでいる。 *鉄棒 ・友達ができた技をみて、真似している。</p> <p>しゅりけんで遊ぶ ・自分が作ったものを投げ、遊び始める。 ・作り方を知っている友達にきいて作っている。 T:ペットボトルを出す。 ・ペットボトルをまもにして遊び出す。 ・折り紙で作ったうさぎをプレゼントするといって、手裏剣遊びを楽しんでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・始めは不安がっていた子ども、教師が塗ってみせることで少し安心でき、塗り始めた。 ・友達が塗る姿をみて、意欲が出て、できた絵を見せ合う姿もあった。 ・自分たちで作った色々な形の手裏剣に名前を付け、友達と見せ合ったり、どのくらい飛んだか比べたりしていた。自分たちで作った的あてがあるともっと楽しめたのではないかな。 ・落ち葉の量が人数に対して少なく、存分には遊べなかった。次回はもっと量を増やしたい。
水曜日	<p>園外に散歩に行く ・年長児と一緒に園舎近くを散歩し、道ばたに咲く草花をつむ。 T:忍者の家の近くに広告紙、画用紙、摘んできた草花をおく。広告紙で葉っぱを折り、貼ってみる。 ・興味を示し、家に飾っていく。 ・友達がやっているのを真似して飾り出す子もいる。 ・家の中にいる子どもたちは、葉っぱを使ってお店屋さんごっこを始める。</p> <p>忍者の修行をする ・鉄棒で、昨日までできなかった術に挑戦する。 ・自分の考えた術をやってみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでとった草が米カススキか友達同士で考えていた。すべてを教師が伝えるのではなく、考えさせることも大切だと思った。 ・自分たちで集めた自然物を家の飾りに使うことでより興味をもてたようだ。 ・家に入れる、入れないでトラブルとなった。以前はたたいたり、押したりしていたが、言葉で何とか伝えようとしている姿は、友達とのかかわりが深まったからだと思う。

6 本日立案

(1) ねらいと内容

- 友達と体を動かし、忍者になりきって遊んだり、忍者のごちそうを作ったりする。
 - ・ 手裏剣での的あての術、ぶら下がりの術、タイヤブランコの術、きのこと跳びの術、のぼり棒の術等の修行や曲者と忍者の戦いごっこをする。
 - ・ 自然物や小麦粉粘土を使い、忍者のごちそうを作る。

(2) 本日の保育に当たって

<環境づくりから>

- ・ 忍者の修行、手裏剣での的あて遊びなど、幼児達と一緒に考えながら遊ぶ場を用意しておく。
- ・ 忍者になって体を動かしたり、ごちそうを作ったりしやすい位置に、忍者の家やごちそう作りの場などを用意する。
- ・ 忍者のごちそう作りがしやすいように、みんなで集めた落ち葉、ドングリ、松ぼっくりなどを分けておく。

<教師の関わりから>

- ・ 「〇〇でござる」などの言葉を使ったり、忍者走りや修行などをしたり、教師も一緒に忍者になりきって、子どもたちの体の動きを引き出し、友達と一緒に楽しむようにする。
- ・ 周りの友達も参加できるようにし、子どもたちの意見、考えをきっかけに、他の子からも考えを引き出したり、自分なりに忍者の修行遊びを考えたりしていけるようにする。
- ・ 一人ひとりの忍者の表現を認め、友達の刺激を受けてより意欲を高めたり、表現の幅を広げたりできるように、他の友達の忍者の動きにも目を向けられるよう声かけをする。
- ・ 友達と道具を取り合ったり、意見が合わなかったりしたとき、お互いの思いを聞くことができるように、どうしたらいいか考えられるように声かけしていく。
- ・ 遊びの場が広がりすぎたら、一度集まり、遊びの話し合いの場を作り、一人ひとりの考えをよく聞いて受けとめ、幼児に知らせ、遊びが進められるようにする。

<特に配慮しておきたい幼児に対して>

- ・ 独占欲の強い子や自分中心に振る舞う子には、友達の思いにも気付けるような言葉かけをし、譲り合ったり、我慢したり、友達と協力したりできるようにする。
- ・ 人前だと恥ずかしがる子が、うまく遊びに入れなときは、教師が遊びに誘い、友達と一緒に遊ぶきっかけをつくれるようにする。

(3) 本日の展開 △ 環境の構成 ● 予想される活動 ◎ 教師の援助

時間	保育の流れと幼児の活動	晴天の時は園庭で	雨天の時は保育室や隣の遊戯室で
10:00	○ 順次登園する。 ・先生や友だちと挨拶や言葉をかかわす ・持ち物などを決まった場所に置く ・日付を確かめ、出席ノートにシールをはる	木登り用の木 忍者の家 手裏剣あての的 すべり台 ぶら下がったりこうもりの術をしたりする鉄棒 のぼり棒 ジャングルジム タイヤぶらんこ ごちそう作りの場 など	的あての場 レジャーシートで隠れ家 フープ 段ボールの家 マルチパネの家 トンネル すべり台 マット ごちそう作りの場 など
10:40	○ 友だちと好きな遊びをする。 ○ 片付ける。 ・手荒い。うがい、トイレ	△ 自分たちが作った忍者道具の置き場所を決め、昨日の修行遊びのコースに少し変化をもたせる。 △ 忍者の隠れ家などを用意したり、自分の忍者の道具を秘密箱や刀入れの籠など、分かりやすいところに場所を決めておいたりしておく。	△ フープ、すべり台、マットを組み合わせて、レジャーシートや段ボールで忍者の隠れ家を用意する。 △ 廊下に忍者のごちそう作りの場を作っておく。
11:00	○ 朝の集まり ・日にちの確認、当番紹介	△ 落ち葉やどんぐりなどの自然物を使いやすいように置いたり、小麦粉粘土などの材料を忍者のごちそう作りの場を用意したりする。	
12:20	○ 食事をする。 ・食後は静かに遊ぶ、歯磨きをする	△ 自分で作った衣装などを着用して忍者遊びをする。 △ 落ち葉を集めておいたり、修行の場を用意したりする。	
	○ 今日の遊びについて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <晴天の時> ● 戸外で忍者になりきって遊ぶ。 <雨天の時> ● 保育室や隣の遊戯室で忍者になりきって遊ぶ </div>	● 忍者の言葉を使いながら遊び、固定道具や木などで忍者の忍術を考え修行する。 ● 曲者、忍者に分かれ戦いごっこをしたり、手裏剣で的あてをしたりして遊ぶ。 ● 小麦粉粘土や落ち葉、松ぼっくり、どんぐりなどの自然物を使い、忍者のごちそう作りをする。	● トンネル、マルチパネの家、すべり台、マット、ジャンプ台、積み木、フープなどで忍者の修行をする。
13:10	○ 片付けをする。 ・使った遊具や用具、場所を明日の遊びができるように ・足や手洗い、うがい、トイレ	◎ トラブルがあったときは、お互いの気持ちを代弁したり、考えがあることに気付かせたりして、友だちとの関わりが深まるようにする。 ◎ 少しでもできるようになったことや頑張りを認めその場でほめていく。 ◎ 教師も一緒に遊び遊びに入り、友だちを誘ったり、楽しい雰囲気を作ったりして、友だち関係の深まりの橋渡しをする。 ◎ 一人ひとりの発想やイメージ、見立てを充分に楽しめるよう、共感しながら認めていく。	◎ 特に、ジャンプしたり動き回ったりすることが多くなるため、危なくないようにする。 ◎ 特に、すべり台、巧技台、ジャンプ台などを組み合わせている時は、周りに友だちがいないか確認するよう声かけする。
14:00	○ 降園する。 ・先生や友だちと挨拶や言葉をかかわす ・お迎えの保護者と一緒に		